



園だより 10月号

おおつちこども園 令和8年10月

蟬の音が騒がしく聴こえていたと思いきや、いつの間にか秋の虫の声に代わり季節の移り変わりの速さに驚いています。

9月は雨も多く全国各地で災害級の大雨となったり台風の接近と共に早めのお迎えのご協力をいただくなど、こどもたちと同様にキラキラ光る太陽を待ち望んでいるところです。

今週はこどもたちが楽しみにしている「みんなで楽しむゾウ会」が開催されます。

入園・進級から半年が経過したこどもたちの成長や、「今、頑張っていること」の結集の会です☆

そして、今しか経験できない親子での出番☆お父さんもお母さんも是非今からストレッチをして当日を迎えてくださいね☆

「がんばる」とか「あきらめない」という気持ちが少しづつ備わり「仲間のためなら」と堂々たる想いの team オリオン最年長。

とにかくみんなと何かやると楽しい!! 嬉しい!! でも・・・負けると悔しい・・・な、team はくちょう年中児。

なんでもできるんだ!! という錯覚がおもしろい team わし年少児。

「ジブンデ」や「個性のかたまり」がクセ強い team おおぐま2歳児。

ボクはボク。私はワタシ。の team こぐま1歳児。そこにいだけで憂い癒しの team こいぬ0歳児。

今年度のテーマは「みんながみんな英雄」☆ サブタイトルとして「～ひとりひとりが輝く時空（とき）今を生きている!!～」

こどもたちが何をやってみたくて、どんなことに向かっているのか・・・それは小さくてもひとりひとりの想いがちゃんとあつて、毎日その「想い」に寄り添って保育を進めていることの証を10月3日、みんなで共有できる場になればと思っています。

「親子で一緒に」も「自分たちだけで」も沢山の想いを表現できるように先生たちが工夫したプログラム構成となっています。

当日は、みんなで思い切り楽しみましょう!!

寒暖差も激しい季節に入っていきますが、薄着の習慣を身に着け健康でたくましく過ごしていけるように10月もよろしくお願い致します。

HAPPY HALLOWEEN
Trick or Treat

3日(土) みんなで楽しむゾウ会(詳細は別紙にて配布済)
4日(日) 新山高原まつり team オリオン・ウッドチップ散布体験
5日(月) 理事東梅さんの畑で落花生収穫祭
6日(火) 交通安全指導
7日(水) 内科検診
8日(木) team オリオン和太鼓初打ち
岩手県地域婦人大会大槌大会オープニングアクト
9日(金) 10月生まれの Specialday 🍁 (お誕生会)
12日(月) スポーツの日 🍁 おやすみです
13日(火) 大船渡園長会視察研修で来園
14日(水) 就学児眼科検診(当園で行いますのでオリオンは10時～ 欠席しないようお願いします)
ことばの教室(オリオン・はくちょう)
19日(月) 消防フェスティバル(オリオン)

10月の行事予定

22日(木)

Team オリオン
宮古藤原埠頭寄港
豪華客船ウェステルダム
出航見送りイベント
和太鼓演奏出演

23日(金)

たにぞう LIVE 2026
「たにぞう cup2026」
Team オリオン・はくちょう・わし
*今年度はたにぞうさんのスケジュールの関係で、こどもたちのみのLIVEとなります。

30日(金)

就学児検診
Team オリオン

*26日(月)は、19日行われる消防フェスティバルの予備日として使われる予定です。
19日雨天延期の場合は26日となります。集合時間等については後日お知らせ致します。



「年長児までの6年間で育つ大切なこと・・・」

Team オリオンとはくちようになると必ず「やるっ!!」と話してくるのが「全員リレー」ははじめは「ごっこ」から始まるので、「勝つ」とか「負ける」よりも「走るの楽しい!!」や「みんなでやると楽しいね☆」などとお気楽な気持ちで走るのが・・・

時間の経過と共に「本気」になってくると、「誰が1番に走る?」とか、「こうやってこうして走ると速いんじゃない?」などと自分たちで順番を決めるようになって行きます。

今年は「青 team」と「黄色 team」に分かれアンカーも自分たちで決定。

何度やっても青 team が勝つ時や、今日は黄色だけが勝つ・・・という時もあり、その時の順番がいかに大切か、誰と走るかでも差が出ることも自分たちで知って行くのです。

先日のお楽しみソウ会のお手紙でも少し触れましたが、その日は2回走って2回とも「青 team」が勝利!! 勝ちきれない黄色 team に涙・・・という場面。

アンカーだけを走らせてみると「黄色 team」のアンカーが速いことにも気づき、もう一回やってみようということになりました。結果はやはり「青 team」が勝利!!

そしてアンカーにバトンを渡し、負けとわかった瞬間に出る涙・・・(悔しいよね・・・)

「負けても次頑張ればいいんだよ」と言う友だちの声にも泣けてきます・・・(わかるよ・・・)

「さあ!! 明日も頑張ろう!!」と、次に切り替えようとしたその瞬間・・・

黄色 team のアンカーがこう言いました。「ちょっと待って・・・話したいことがあるんだけど・・・」

「どうしたの?」と聞き返すと・・・

「あのさ・・・ボクががんばるから大丈夫だよ・・・泣かないで・・・」

聞いていた先生全員が泣き崩れる事態に・・・

5年しか生きていないのに・・・どうしてこんな名言が飛び出るのか・・・

大人より大人な姿勢と、最後のアンカーとしての使命をしっかりと自分のこととして受け止めて友だちのことを考えるってすごいことです!!

「全員リレー」の意味をずっとこどもたちと話してきて、「ひとりひとりの力の結集」であること、「友だちの分も全部引き受ける」という思いに至っているという成長が垣間見た瞬間でした。勝ち負けよりも、本番のこどもたちの真剣な姿に大注目です!(^^)!



「手根骨(しゅこんこつ)のお話」

Team オリオン・はくちようになると「自分のことは自分で」できる様になって行きます。遊びを決めて行くことはもちろんですが、生活の中でも様々な準備や後片付けなど大人顔負けでお手伝い・・・というよりも自分たちの仕事として働いてくれます。

その中でも、ご飯の後の「雑巾がけ」は天下一品☆

現代は「モップ」という優れたものがありますが、やはりすべての手指の機能はこの「雑巾しぼり」にあると最近特に思うのです。そして、腰や背中を重心に置いてバランスと取りながら雑巾を滑らせて行く様子は、はじめは腕に力が入らないのと、バランスの悪さですぐにコケてしまうのですが、やって行くうちにしっかりと力の入れどころのコツをつかみ、しっかりと前に進めるようになります。また、「雑巾をしぼる」ことは、以前にも紹介した「手根骨(しゅこんこつ)」という手首の骨が鍛えられ、スムーズにお箸やスプーンが持てることにも繋がります。

実は・・・歴代の先輩たちもこの「雑巾がけ」から、リレー選手に選出されることが多く、やはり幼少期からの「やる気」はホンモノだと思っています。

是非、ご家庭でも「雑巾しぼり(おしぼりでも可)」や「雑巾がけ」のお手伝いをさせてみてくださいね!(^^)!

Team オリオン・はくちようは朝のお仕度やカバンを背負ってくることも、とても大切です。特に就学を控えているオリオンは自分の持ち物の管理は自分でできるようになりましょう☆

「薄着の習慣を身につけましょう」

10月に入ると寒暖差はもっと大きくなり、朝は10℃を下回る日もぼちぼち出てくる様です。ですが・・・日中は23～24℃と高くなり、長袖で登園しお外遊びをしてみるとみるみるうちに汗だくに・・・それがまた冷えて風邪をひいてしまうという悪循環・・・

シャツはランニングか半袖でまだ充分です。そして「半袖 T シャツ」をお願いします。朝晩はそれに薄手のジャンパーやパーカーなど簡単に脱ぎ着できるもので調節できるようにお願い致します。まだまだ薄着で大丈夫です。目安は「大人より1枚少なく」なので今から健康な身体作り頑張らしましょう☆



「ご飯になるまで・・・」

今年は理事の東梅さんの田んぼで春に「田植え」をさせていただき、お祭り前の18日に「稲刈り」に行ってきた。

オリオンになると「段ボールカッター」が使えるようになるので、その経験を活かし手際よく稲を刈って行くこどもたち。中にはおばあちゃんのお手伝いをしているという子は「my 鎌」を持参☆

これまた手際よく刈り、職人のように刈った稲を束ねやすいと持ち上げ運ぶ姿にたくましさを感じました。

お米が出来るまで・・・の体験は「大切に食べる」ことや「美味しく食べる」ことに繋がってほしいと思う貴重なことでした。東梅さんありがとうございました。

次は土鍋ご飯にチャレンジしますよ☆



「積み木遊びの大切さ」

2歳を過ぎると真剣に遊び始める「積み木」

これには深い～～お話があるのです☆はじめは横に並べて行くだけの積み木も、大人が「～～みたいだね」とお家を作ったり車を作ったりしてあげると自分でも「積んで」いくようになります。形もバラバラなのですぐ崩れたりしてモヤモヤしたりもしますが、「積み木は人生と一緒に」と言われているように、「崩れても次にまた作り直せばよい」という教訓になる大切な遊びなのです。

ブロックや Q のように「型にハマる」ことがないので、積み木遊びが得意なお子さんはそれだけ「想像力」と「創造力」が発達し、手先の器用さや空間認知力などが育ちます。

Team こぐま・おおぐまでは絶賛積み木遊び発達中☆

大きくなるにつれ「カブラ」や「ドミノ」遊びにも発展し色々なものが作れるようになって行きます。



「その時々で充分に遊びこむ大切さ」

最近、「どうして裸足保育が良いのか?」「いつから上履きを履かせるか」「トイレトレーニングは必要か?」など、毎年同じ月齢でも毎年違うカラーのこどもたちを目の前に、保育をしながらか先生たちと考える機会が必ずあります。

わかっていても、その年々で進み方が違ったりするためです。

おうちこども園で一番大切にしていることは、「その子が夢中で遊んでいる時は中断させないこと」なので、トイレについては、その子の意志を尊重して行こうとするまで待ちます。3歳児の半ばまでは緩く見守ることになっています。

「裸足」については、基本的に「土踏まずの形成」が確立するまでは上履きの使用はしません。裸足で土や泥を踏みしめる力が付いたり、室内で登ったり下りたりを十分に経験することで土踏まずが形成されていくので「危険だから」という理由だけで赤ちゃんに上履きを履かせることはしていません。土踏まずの形成がしっかり出来上がってくる2歳児(おおぐま)両足ジャンプなどがしっかりできる様になった頃を見計らって上履きを用意していただいています(ずっと裸足がよい訳でもありません)「みんな一緒」ではないことが重要です。